第24講 ● 日本国憲法①

1　日本国憲法

(1)　日本国憲法の制定

①　日本国憲法制定の理由…ポツダム宣言(せんげん)を受け入れ，日本は民主化の義務を負った。GHQ(ジーエイチキュー)（連合国軍最高司令官総司令部）は，大日本帝国憲法の改正を指示した。

②　日本国憲法の成立

…憲法の改正案は帝国議会で審議(しんぎ)され成立した。

(ア)　公布…1946年11月3日

（文化の日）

(イ)　施行(しこう)…1947年5月3日

（憲法記念日）

③　種類と性格

(ア)　大日本帝国憲法が天皇の定めた欽定(きんてい)憲法であるのに対し，日本国憲法は国民のつくった民定憲法である。

◎日本国憲法の構成

前文と11章103条

前文

第1章　天皇（天皇は国の象徴(しょうちょう)）

第2章　戦争の放棄(ほうき)

第3章　国民の権利(けんり)と義務

第4章　国会（国民による政治）

第5章　内閣(ないかく)（国民のための政治）

第6章　裁判所(さいばんしょ)

第7章　国の財政

第8章　地方自治（住民による政治）

第9章　憲法改正

第10章　国の最高法規

第11章　その他のきまり

(イ)　憲法は国の最高法規であり，憲法に反する法律(ほうりつ)・政令・条例などをつくることができない。

	日本国憲法	大日本帝国憲法
成立	1946（昭和21）年 11月3日公布 1947（昭和22）年 5月3日施行	1889（明治22）年 2月11日発布 1890（明治23）年 11月29日施行
種類	民定憲法（国民がつくった憲法）	欽定憲法（天皇がつくった憲法）
主権	主権は国民にある（国民主権）	主権は天皇にある（天皇主権）
天皇	日本国と日本国民統合の象徴 国政について権限をもたない	神格化された元首 統治権のすべてをにぎる
議会	国会…衆議院（しゅうぎいん）と参議院 （衆議院の優越（ゆうえつ）） （両議院の議員は国民の選挙で選ばれる）	帝国議会…衆議院と貴族院（きぞくいん） （両院は対等） （衆議院議員のみ国民の選挙で選ばれる）
人権	基本的人権の尊重（そんちょう）（三大原則） 社会権（生存権（せいぞんけん）など）を保障（ほしょう）する	天皇からあたえられた臣民（しんみん）の権利 法律によって制限できる
軍隊	戦争放棄，戦力をもたない， 交戦権を認めない	天皇が陸海軍を指揮（しき）する

(2)　日本国憲法の三大原則

①　**国民主権**…主権（国の政治を最終的に決定する権利）が国民にあること。

> 日本国憲法の前文（一部）
> 「ここに主権が国民に存することを宣言し，この憲法を確定する。」

② **基本的人権の尊重**…

…基本的人権は人間が生まれながらにもっている基本的な権利で，日本国憲法では「おかすことのできない永久の権利」として保障されている。

③ **平和主義**…国際平和を願う理想をかかげ，二度と戦争を起こさない決意を，日本国憲法の前文と第9条に明記している。

(ア) 戦争放棄…国と国との争いを解決する手段（しゅだん）としては，戦争を永久に放棄する。

(イ) 戦力の不保持…陸海空軍その他の戦力はもたない。

(ウ) 交戦権を認めない…わが国が他国と戦いを交える権利を認めない。

> 日本国憲法第9条
>
> 1　日本国民は，正義と秩序（ちつじょ）を基調とする国際平和を誠実（せいじつ）に希求し，国権の発動たる戦争と，武力による威嚇（いかく）または武力の行使は，国際紛争（ふんそう）を解決する手段としては，永久にこれを放棄する。
>
> 2　前項（ぜんこう）の目的を達するため，陸海空軍その他の戦力は，これを保持しない。国の交戦権は，これを認めない。

(3) 国民主権と天皇の地位

① 国民主権…大日本帝国憲法では，主権が天皇にあったが，日本国憲法では主権が国民にある。

② 天皇の地位…日本国および日本国民統合の象徴であって，この地位は主権をもつ日本国民の総意にもとづく（日本国憲法第1条）。

③ 天皇の働き…天皇は，内閣の助言と承認（しょうにん）にもとづいて国事行為（政治に関係しない形式的な行為）を行う。

天皇の国事行為

① 任命権　内閣総理大臣（国会の指名により，天皇が任命）
　　　　　最高裁判所長官（内閣の指名により，天皇が任命）

② 憲法改正・法律・政令・条約の公布

③ 国会の召集（しょうしゅう）

④ 衆議院の解散

⑤ 国会議員の総選挙の施行の公示

⑥ 国務大臣などの任免（にんめん）の認証，大使などの信任状の認証

⑦ 大赦（たいしゃ）・特赦・減刑（げんけい）・刑の執行（しっこう）の免除（めんじょ）や復権の認証

⑧ 栄典の授与（じゅよ）

⑨ 外交文書の認証

⑩ 外国大使などの接受

⑪ 儀式（ぎしき）

(4) 国民の権利と義務

① 基本的人権…公共の福祉に反しない限り最大の尊重を必要とする（日本国憲法第13条）。また，国民が権利を濫用（らんよう）すること（みだりに使うこと）をいましめ，公共の福祉のために利用する責任があるとしている（日本国憲法第12条）。

※公共の福祉…社会全体の利益，みんなの幸福。個人個人の権利を正しく調和させて，みんなの幸福を実現させること。

② 国民の義務

(ア) 子どもに教育を受けさせる義務…日本国憲法第26条

(イ) 勤労の義務…日本国憲法第27条

(ウ) 納税の義務…日本国憲法第30条

(5)　日本国憲法と自衛隊

①　憲法と自衛隊…自衛隊や日米安全保障条約をめぐって，違憲(いけん)か合憲(ごうけん)か意見の対立がある。政府は，外国から攻(せ)められたときに国を守る自衛権は国の権利として認められるという立場をとっている。

(ア)　自衛隊…1950年にGHQの命令で設立された警察予備隊(けいさつよびたい)が，その後，保安隊（1952年）をへて，自衛隊（1954年）となった。

(イ)　日米安全保障条約…1951年に結ばれた条約。日本国内の基地にアメリカ軍が駐留(ちゅうりゅう)することを認めている。

※非核(ひかく)三原則…佐藤栄作首相(さとうえいさくしゅしょう)は，「核兵器をもたず・つくらず・もちこませず」の非核三原則を主張した。

〈 Note 〉

第24講 ● 確認テスト

(1)　大日本帝国憲法は1889年何月何日に発布されましたか。

ア　2月11日　　イ　11月29日
ウ　5月3日　　エ　11月3日

(2)　帝国議会の二院制の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

ア　衆議院(しゅうぎ)と参議院(さんぎ)　　イ　衆議院と貴族院(きぞく)
ウ　参議院と貴族院　　エ　参議院と元老院(げんろう)

(3)　日本国憲法は前文以外にいくつの条文がありますか。

ア　25条　　イ　96条　　ウ　103条　　エ　125条

(4)　日本国憲法の三大原則にあてはまらないものを選びなさい。

ア　国民主権　　イ　平和主義
ウ　基本的人権の尊重　　エ　天皇主権

(5)　日本国憲法での三大義務ではないものを選びなさい。

ア　兵役(へいえき)の義務　　イ　納税の義務
ウ　こどもに教育を受けさせる義務　　エ　勤労の義務

(6)　天皇の国事行為(こくじこうい)にあてはまらないものを選びなさい。

ア　法律の公布　　イ　国会の召集
ウ　最高裁判所長官の任命　　エ　内閣総理大臣の指名

(7)　日本国憲法が施行された日は現在，何とよばれる祝日ですか。

ア　建国記念の日　　イ　文化の日
ウ　憲法記念日　　エ　昭和の日

(8)　平和主義は日本国憲法の前文と何条に書かれていますか。

ア　第1条　　イ　第9条　　ウ　第25条　　エ　第96条

(9)　自衛隊の前身の警察予備隊(けいさつよびたい)は何年に結成されましたか。

ア　1943年　　イ　1945年
ウ　1947年　　エ　1950年

(10)　非核三原則を主張した総理大臣は誰ですか。

ア　岸信介(きしのぶすけ)　　イ　佐藤栄作(さとうえいさく)　　ウ　吉田茂(よしだしげる)　　エ　鳩山一郎(はとやまいちろう)

第24講 • 確認テスト

解答

(1)	ア	(2)	イ	(3)	ウ	(4)	エ	(5)	ア
(6)	エ	(7)	ウ	(8)	イ	(9)	エ	(10)	イ

〈 Note 〉